

令和 7 年度 第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所名	大分県糸口第二厚生園（指定障害者支援施設）		
開催日時	令和7年7月31日（木）10時00分～12時05分		
開催場所	大分県糸口第二厚生園会議室		
出席者 ①～③の方については出席必須	構成員	人数	備考
	①利用者	1 名	
	②利用者家族	1 名	
	③地域の関係者	3 名	自治区長
	④福祉に知見のある方	2 名	学校長、基幹相談主任相談支援員
	⑤経営に知見をある方	名	
	⑥市町村関係者	1 名	
	⑦当該施設職員	4 名	管理者、サービス管理責任者

2. 議題

(1) 主催者挨拶・地域連携推進会議の概要・趣旨説明 (2) 出席者紹介 (3) 議事録署名人の選定 (4) 施設等やサービスの透明性・質の確保について ・利用者の日常生活の様子について ・経営状況 ・BCP（業務継続計画）の策定状況について (5) 施設等と地域の連携について ・障がいについて ・地域行事のご案内 (6) 利用者の権利擁護 ・令和6年度における虐待、事故、ヒヤリハット、苦情相談の報告 (7) その他
--

【利用者】

感想：日常生活について「楽しく生活ができています」

【利用者家族】

感想：年間の転倒件数が思ったより少ない感想を持った。保護者間で話すのは、帰省等の際、家で新しい傷ができていたりするのを確認すると、とても悲しい気持ちになる。

回答：怪我については、転倒等目視した際はその都度、そうでない場合は、主に入浴支援の際、体の状態についてチェックさせて頂いている。また、その際万が一怪我等が確認された場合は、個別にご家族へ報告させて頂いている。今後も一層の未然防止と異変に対する気づきの強化を行っていきたい。

【地域の関係者】

質問：よく求人のチラシを拝見する。年間何人位の人が退職しているのか？また、その退職理由はどのようなものか？

回答：年度によって人数は変わるが、多い年でも10人弱の人数。退職理由については、個々様々な内容であるが、敢えて挙げるとすれば、体力的理由や、障がいへの理解、特に入浴、排泄、食事に対する三大介助がどうしても苦手といった理由。そして、これはどの職場でもある内容ではあるが、職場内での人間関係に悩み退職される等の理由。

助言：実は、地区の住民で過去、大分県糸口第二厚生園に勤めていたが、人間関係で退職した人がいる。管理者においては、退職人数を減らす為にも、是非「風通しの良い職場環境」に配慮願いたい。

回答：承知しました。一層の努力を行って参ります。

感想：昔から大分県糸口第二厚生園とは環境整備や神楽などの伝統行事を通して交流をさせて頂いている。今後も継続していきたい。一方、隣接する自治区によっては、残念ながら交流がない状況もあるので、今後交流できることがないか考えていきたい。

助言：（隣接する里道について）穴があいているなど、補修が必要と考える。地域住民も利用している生活道路でもあるので、自治区としても、行政への働きかけについては協力していきたい。

【福祉に知見のある方】

質問：地域移行に対する意思決定支援については、どのように対応されているのか？

回答：年に一度個別支援計画策定の際に意思を確認している。質問の趣旨について個々にご理解いただけるよう工夫しているが、やはり、ご発言がないご利用者の意思決定は難しく普段の日常生活における興味頂いている内容から類推するようにしている。また、全体として、引き続き当施設での生活を望まれている方が多い中、地域移行の希望があれば、グループホーム等への体験などの支援を行っていく。

感想：地域交流を通じて、今年度は人権意識の向上を目的に小学6年生を対象に「人権擁護標語コンテスト」。防災意識の向上を目的に小学5年生を対象に「地域連携防災セミナー」にそれぞれ参加することを計画している。

【市町村担当職員】

質問：今年度大分県糸口第二厚生園が計画している地域公益活動のうち、中学生を対象とした職場体験について実施状況を教えてほしい。

回答：4月に実施予定であったが、当施設で感染症が発生し実施できなかった。改めて今年度中の実施ができないか内部検討している。

感想：生徒が福祉職場を体験することは非常に良いことであり、以後も取組をお願いしたい。

4. その他

- (1) 本会議終了後の施設見学について
施設が提供する食事（昼食）の試食および施設内の見学について依頼し、出席者全員から承諾を得た。